

第46回保安管理者研修会

LPガス緊急保安 研修施設のご紹介



東京ガスリキッドホールディングス(株)
東京ガスエネルギー(株)

2018/4/26

おことわり

2017年の設立当初は「ガスクール緊急保安研修センター」の呼称でしたが、「ガスクール」は別途、称号を使用されることから、LPガス緊急保安研修の施設として、「**成田研修センター**」として取り扱いをすることになりました。

なお、一部紹介内容ではガスクールの名称が出てきますがご了承願います。

目次

- はじめに
- 設立目的
- LPガスの事故件数の推移
- 緊急保安業務における課題
- カリキュラム紹介映像
- 保安マインドとは
- 研修カリキュラム
- センター受講にあたり

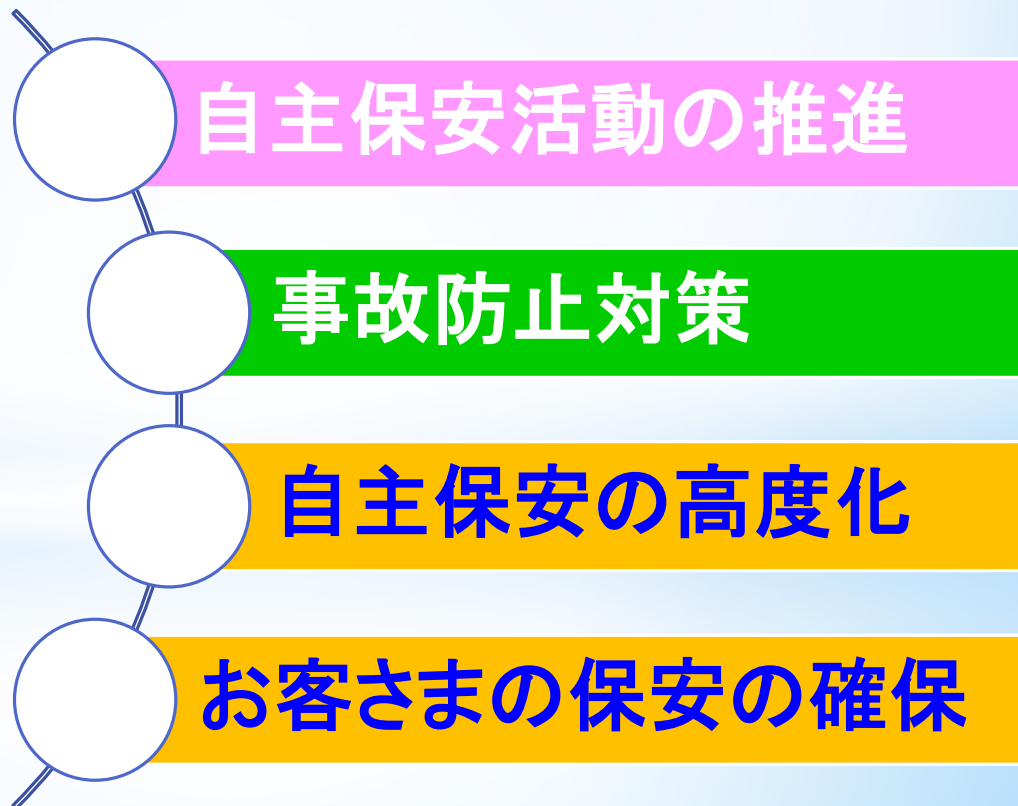
はじめに

経済産業省が毎年策定している

「液化石油ガス販売事業者等保安対策指針」

【重点課題】

LPガス事業者
においては



設立目的

LPガスを実際に、ご使用頂いている現場を想定して各種訓練を実施する施設で、緊急保安業務スキルの向上を目指し、LPガス事業者の方々にも広く開放することを想定

自主保安の高度化
お客様の保安の確保

LPガス緊急保安業務に係る技術レベルの高度化を目的とした研修施設「**成田研修センター**」を設立し、2017年8月29日より、研修を開始しました

LPガス事業においては

エネルギーの自由化により

⇒消費者の事業者自由選択

デジタル革命により

⇒環境の変化が激しい

新たなLPG事業戦略の推進を視野に、更なる業務効率化を図る必要があると見えています

業務の効率化と併せて

保安レベルの高度化も不可欠

☆毎年、100件以上の事故発生件数推移が現状

(2006年以降139件～260件で推移)

事業者が抱える緊急保安業務に対する課題

社員の保安スキルの体系的教育体制がない

**共同緊急保安体制の
構築を目指す**

(日本ガス協会2016年調べ)

都市ガスお客様：約2833万件

プロパンガスお客様

約2400万件

「より安全に、かつ安心して

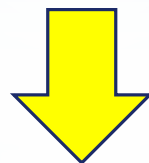
LPガスをご利用頂くために」

LPガス緊急保安業務の

エキスパート養成

(現場プロフェッショナルの育成)

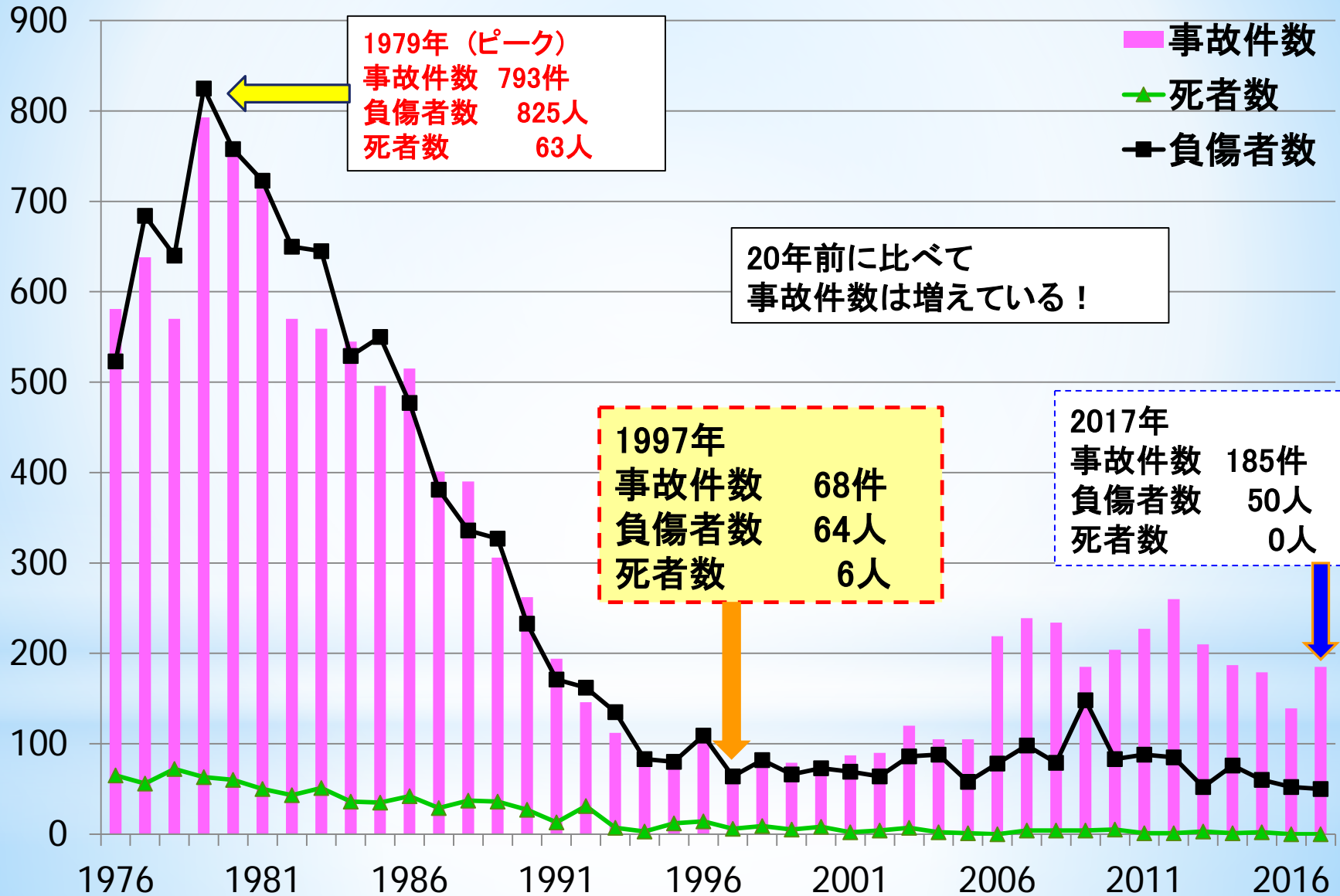
- 高度な緊急保安技術を発揮
- 様々な現場の状況に的確に対応



お客様の安全最優先の指導

LPガスの事故件数 および 死傷者数の推移

(件・人)



平成29年度現象別の事故発生状況

【事故件数185件内訳】

漏えい:106件(事故総数の57.3%)

漏えい火災・漏えい爆発:76件(事故総数の41.1%)

CO中毒・酸欠:3件(事故総数の1.6%)

【現象別の被害状況】

漏えいに係る負傷者数は、1人

漏えい火災・漏えい爆発に係る負傷者数は、44人

CO中毒・酸欠に係る症者数は、5人

漏えい火災・漏えい爆発における事故、負傷者数45人(90%)という状況でした

漏えい火災・漏えい爆発における 事故件数には

一般消費者等からの連絡を受けてLPガス販売事業者等が対応した際の作業ミスにより発生した事故が含まれています

緊急出動対応時における、二次災害防止、お客様を守る対応、安全確保が重要視されます



緊急保安業務教育の実施

緊急保安業務における課題

コスト増	自店小規模での緊急連絡・対応の仕組み構築 卸元・中間卸事業者等相互受委託対応の限界
コンプライアンス	夜間宿直における労働基準法対応 経済産業省からの指導強化
要員確保	夜間宿直のために女性活用が進まない 中小事業者を中心に将来的な要員不足
その他	<u>社員の保安スキルの体系的教育体制がない</u> 社員の宿日直拒否、社員の疲弊・高齢化

「体系的な緊急時対応の教育」を 実施しているLPガス販売事業者は少ない

- 都市ガス、LPガスにおいてもガス漏れ事故の発生は後を絶たない
- 事故対応の経験が少ない人が、緊急時対応するケースも多い
- いざ事故が発生した場合に適切な対応ができないと、お客さまの命や財産を守ることができない

「ガスの保安」は「公共の安全」の確保

研修内容の紹介

緊急保安の心得

ガス事故等の発生防止または拡大防止

- ◆ お客様の身体の安全を確保し
建物・設備などお客様資産を保護する
 - ▼ 簡単に言えば、爆発・火災を起こさないこと
- ◆ 緊急保安出動者自身の身体の安全を確保して作業を行う
 - ▼ 出動者が怪我をしてしまったら、お客様の安全を守れない

研修内容の紹介

初動措置の大切さ

爆発が起きる条件

空 気

可燃性ガス
(燃焼範囲内)

+



着火源

どれかひとつの条件を無くせば爆発は起きない！

研修内容の紹介

初動措置の大切さ

爆発・火災を起こさないために

- ◆ 爆発につながる要因を排除する
 - ▼ 換気による滞留ガスの排出(窓・扉開放等)
 - ▼ 保安閉栓により新たな滞留ガスを発生させない
 - ▼ 火気厳禁、電気スイッチ、リモコン等の操作禁止により着火源を作らない

研修内容の紹介

初動措置の大切さ

- ◆ まず爆発につながる要因を排除し、事故発生のおそれがない状態にできたことを確認できた時点で漏えい個所の調査、応急措置・修理に移る
- ▼ 漏洩現場訪問時、すぐに漏えい箇所を探すのではなく、まず換気、保安措置、火気厳禁、電気スイッチ操作禁止の徹底を優先して実行する

LPガス緊急保安研修の内容

研修風景を映像で紹介



Gas Crew

ガスクル緊急保安研修センターのご案内

ガスクル緊急保安マインド

初動措置

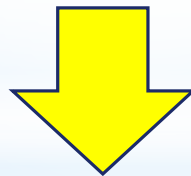
研修カリキュラム



LPガス緊急保安研修の内容

研修前の行動

- ① いきなりインターフォンを押す
- ② ドアをいきなり開け中に入る
- ③ 換気を優先しない
- ④ 滞留ガスに対する危険意識が低い



**自分の身の安全が確保できていない
お客様の安全の確保ができていない**

保安マインドとは

ガス漏れ対応を遂行するうえで、
ガスによる二次災害防止を優先し、
どのような状況においても毅然とした
態度で安全確保に全力を注ぐ精神
の総称です



お客様の安全最優先

LPガス緊急保安研修での教え

- 保安マインド
- 初動措置
- 安全確保

ガス漏れ通報の受付時点から処置の完了まで
ガスによる二次災害は絶対に起こさない

- ◆ 基本的使命を達成するため
- ◆ 基本を繰り返し練習するとともに
- ◆ 多様な現場状況における判断力を養う

LPガス緊急保安研修

■ 目指すところ

東京ガス緊急保安部の監修の下、研修カリキュラム、マニュアル類を整備し、ガスライト24の業務基準に準じた、**都市ガスと同等レベルの緊急保安スキル向上**を目指す

■ 自社職場で

受講者のレベルアップ、ならびに職場に戻って職場全体のレベルアップにつなげていただく

「人財」の育成・強化の要求に応える

研修カリキュラム

初動措置実習



- 現場到着、状況確認
- 聞き込み調査
- 保安措置ロールプレイング
(戸建住宅、集合住宅、
業務用テナントビル)



漏えい調査・修理実習



- 各種検知器、圧力計を用いた
漏えい調査
- 修理・応急処置
(漏えい調査・修理パドック)

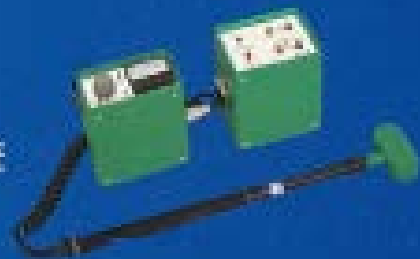


研修カリキュラム

埋設配管調査実習



- パイプロケータによる配管経路確認
- ボーリング
- 臭気管を使った漏えい調査（埋設配管フィールド）



ガス機器・設備点検実習



- ガス機器のCO測定
- 感震速断装置点検復帰操作など



受講にあたり

- 「最高レベル」の緊急保安サービスを提供するのは会社ではなく、プロフェッショナルな人材です
- LPガス緊急保安研修は、緊急保安のプロフェッショナルな人材を育成するために設立しました
- 東京ガスの緊急保安体制の叡智を取り込んだ「最高レベル」の教育を受けていただきます

受講にあたり

- お客様の人命と財産の安全の確保及び1時間程度の緊急修理を前提に、スキルと緊急保安業務の心構えを学んで頂きます
- 各社における日常業務では、研修内容を自社流に生かして活用願います

受講者の皆さまからの意見を活かし、より良いカリキュラムに進化させていきたいと考えていますので、宜しくお願いいたします

【終わりに】

東京ガスリキッドホールディングス(株)及び
東京ガスエネルギー(株) は

より安全に、かつ安心してLPガスをご利用頂くために、高度な緊急保安技術を発揮し様々な現場の状況に的確に対応することで、

**お客様から信頼頂ける
緊急保安ネットワークの普及
を目指してまいります**

ご清聴ありがとうございました

